

(3) 2015年(平成27年)3月26日(木曜日)

両輪会

居眠り事故防止対策

グループで討議



NPO法人ヘルスケアネットワーク(OCHIS)が主催する安全と健康を推進する協議会(両輪会)は18日、大阪府トラック会館で第16回両輪会を開催。今回のテーマは「急増する居眠り運転

事故の背景を探る」で、事例をもとに事故原因の究明と対応策を探った(写真)。参加者はトラック、バス、タクシー事業者の運行管理者や事故防止担当部署から43人だった。

両輪会は運輸業界の健康起因事故の防止を図るため、毎回出席者がグループディスカッションし、事故発生の事例を報告しながら原因や対策を検討している。提起される事例はそれぞれ生々しいものだが、各社からの情報は、今後具体的な事故防止対策に活用され、事故率低減への実績をあげているだけに、話題は具体的で対策は建設的なものとなった。居眠り運

転は睡眠時無呼吸症候群(SAS)が要因となるケースが多く、両輪会代表の作本貞子OCHIS副理事長がSAS対策の重要性も説いた。運転者のみならず、社内全体でSAS対策についての意識向上が欠かせないとし、まずはOCHISの「パルちゃん」によるスクリーニング検査を進めた。